



新たな地震被害想定について

このことについて、県から公表がありましたので、次のとおり概要をお知らせします。

1 経 緯

- (1) 令和7年3月31日、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループが、国の新被害想定を公表
- (2) 令和7年10月31日、広島県が「広島県地震被害想定調査結果（概要版）」を公表
11月14日、「広島県地震被害想定調査報告書（全文）」を公表

2 呉市における南海トラフ地震の被害想定

（今後30年以内の発生確率：60～90%程度以上）

	平成25年	令和7年	備 考
最大震度	震度6弱	震度6弱	
津波最高水位	3.6m	3.7m	
浸水想定区域	1,218ha	1,036ha	浸水深1cm以上
最大波到達時間	240分	241分	
死者数	429人	389人	約1割減
災害関連死	—	79～158人	
全壊焼失棟数	5,529棟	3,501棟	
半壊棟数	19,351棟	20,918棟	
電力（停電）	5,007軒	1,997軒	
断水	185,200人	39,096人	
情報通信（不通）	3,325回線	761回線	
避難者数(避難所)	29,548人	20,072人	
(避難所外)	15,941人	12,053人	

3 呉市内への影響が大きい、その他の主要な地震の被害想定

- (1) 安芸灘～伊予灘～豊後水道地震（今後30年以内の発生確率：40%）

	平成25年	令和7年	備 考
最大震度	震度6強	震度6強	
津波最高水位	2.9m	3.1m	
浸水想定区域	766ha	616ha	浸水深1cm以上
死者数	620人	550人	
災害関連死	—	102～205人	
全壊焼失棟数	5,626棟	6,019棟	

半壊棟数	24,444 棟	27,488 棟	
電力（停電）	13,513 軒	2,386 軒	
断水	171,092 人	85,258 人	
情報通信（不通）	8,864 回線	932 回線	
避難者数(避難所) (避難所外)	24,766 人 13,792 人	24,667 人 15,746 人	

※ 平均発生間隔：60.4 年（前回の芸予地震から 24 年経過）

(2) 安芸灘断層地震（今後 30 年以内の発生確率：0.1～10%）

	平成 25 年	令和 7 年	備 考
最大震度	震度 6 弱	震度 6 弱	
津波最高水位	2.0m	—	※現時点で未公表
浸水想定区域	246 h a	160 h a	浸水深 1 c m 以上
死者数	62 人	420 人	
災害関連死	—	28～57 人	
全壊焼失棟数	973 棟	1,617 棟	
半壊棟数	4,604 棟	8,189 棟	
電力（停電）	1,779 軒	1,029 軒	
断水	2,882 人	10,899 人	
情報通信（不通）	1,145 回線	316 回線	
避難者数(避難所) (避難所外)	5,842 人 3,187 人	7,063 人 4,514 人	

4 今後の防災施策への反映

(1) 本市における南海トラフ地震の被害想定は、総じて下方修正されています。

しかし、南海トラフ地震では、関係機関、他自治体、ボランティア等の応援は、太平洋岸の自治体への重点配備が見込まれることから、本市としては、なお一層災害対応力の向上に努めます。

(2) 対して、安芸灘～伊予灘～豊後水道地震、安芸灘断層地震の被害想定は、上方修正されています。これらの地震も見据えた備蓄の充実に努めます。

(3) 防災教育に関しては、速やかな避難を実現する「避難の呼びかけ体制」に加えて、災害関連死を防ぐため、避難生活の環境改善に資する「避難所の機能・運営」への理解増進を図ります。